

令和4年第4回議会定例会における行政報告及び議案大綱説明

(R4, 12, 7)

おはようございます。

本日は、令和4年第4回東栄町議会定例会を招集しましたところ、議員の皆様には、公私にわたり大変お忙しい中、ご参集を賜り、厚くお礼を申し上げます。

師走を迎え、日を追うごとに寒気も深まり、冬の到来を感じるようになってまいりましたが、例年に比べ11月は比較的暖かい日が続き、季節の移り変わりが肌で感じられないような気候となっていました。今後は厳しい寒さが予想されています。

早いもので令和4年も余すところ、ひと月弱となりました。

新型コロナウイルス感染症は国内の発生から3年目を迎えようとしています。9月議会においても報告させていただいたとおり、7月から第7波の感染拡大が全国的にはじまり、当町においては比較的感染者が少ない状況でありましたが、8月は感染者が約100人に達し、その後落ち着いたものの、11月に入り感染者が数日間続き、現在も数人の感染者が出ています。重症化の報告は今のところありませんが、いちばんの対策として、感染拡大や重症化防止のためのワク

チン接種を皆さんにお願いしているところです。

3回目までの接種につきましては、2,294人(91.10%)で、4回目の接種は1,731人(75.45%)という状況です。5回目接種も12月9日からはじまりますので、なるべく多くの皆さんにワクチン接種をお願いいたします。

現在、第8波に入っており、感染者は全国的に増えはじめています。今後、年末年始を迎え、人の流れも活発となりますので、皆様におかれましては、今一度、感染防止対策をより強く意識していただき、引き続き基本的な感染予防対策の徹底にご協力くださるようお願いいたします。

一方で、コロナ経済対策としては、40%プレミアム率を付けての商品券の発行をさせていただいています。また、新たにデジタル券での販売も試みました。現在の販売実績等は、紙商品券は6,000冊の発行に対しまして、5,227冊の予約販売となっています。プレミアム分を含む金額は、36,589,000円となっています。また、デジタル商品券は1期目(町内のみ販売)3,395,000円、2期目(町内外販売)の現在までの販売額は17,635,800円で、デジタル券の現在までの合計金額は、21,030,800円という

状況であります。なお、デジタル商品券の販売は、12月末までとなっております。

次に事業持続・売上減少対策応援金については、コロナ禍で大きな影響を受けた事業者に対し支援するものです。そして、原油価格等高騰対策では、原材料費等の仕入れ金額の高騰分に対して補助を行うこととしています。

非課税世帯と家計急変世帯に対しましては、電力等価格高騰緊急支援給付金として、1世帯当たり5万円を給付します。また、非課税世帯以外の世帯に対しては、町内で使用できる商品券1万円分を給付してまいります。今後も国の交付金等を活用してしっかりと対策を講じてまいります。

現在、経済対策を主とした、国の令和4年度第2次補正予算が国会で審議され2日に可決されました。補正予算で関係ある内容としましては、「出産・子育て応援交付金」です。これは出産家庭への支援を目的として、妊娠時から出産・子育てに至る相談支援の充実と10万円の経済支援を希望する市町村において行うとされたものです。出産されるご家庭への支援となるよう、町の現行の制度と調整を図りつつ、検討してまいりたいと思います。

コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増額ですが、国庫補助事業の地方負担分への補てんが主なものであるとされていますので、あまり単独事業への影響はないのではないかとと思いますが、注視してまいります。

普通交付税においては、国の地方交付税関係税収が増額となり、地方公共団体の物価高、経済対策支援を目的に、本年度に限り、臨時経済対策費が追加交付されるというものでありますが、しっかり情報収集していきたいと思います。

一昨年は町の混乱を避けられず大変残念な年でありました。2期目の途中で辞職し、再選挙により信任を受け、変則ですが3期目の町政を担うこととなり、今年度を含め残す任期もわずかとなりました。

町の長年の懸案事項でありました医療問題は、大変多くの皆さんにご苦勞をおかけしましたが、議会をはじめ、医療、福祉、介護等の関係者、そして住民の皆さま方のご理解とご協力により、新診療所・保健福祉センター及び子育て支援センターからなる複合施設が無事に完成し、10月15日には、来賓はじめ関係者の皆さんにご出席いただき竣工式を開催させていただきました。町民の皆様にも一般公開させていただきました。

愛称も「東栄ひだまりプラザ」と決まり、11月1日からスタートすることができました。今後は関係者が連携し、医療・保健・福祉・介護等が一体的に提供できる地域包括ケアシステムの拠点として、住民の皆さんが安心して暮らせるよう職員一丸となって努めてまいりますので、宜しくお願い致します。

令和3年度はコロナ禍で全国大会等が中止になりましたが、今年11月9日から22日の間、東京において、各種大会や総会が開催され、出席をさせていただきました。安全安心の道づくり全国大会を始めとする道路関係や災害復旧、治水砂防、簡易水道、過疎地域連盟、山村振興連盟などの大会において、議決された要望事項などを国会議員や各省庁に対して要望活動を行ってまいりました。特に三河簡水や北設情報については、大変重要な課題であり、北設楽郡3町村合同で国や県に積極的に要望活動を行わせていただいたところであり、また、町単独での要望等もこの機会にしっかりと行ってまいりました。

広域連合の関連としては、11月7日に東三河8市町村長で東三河の課題を愛知県知事に要望等をさせていただいたところでありま

す。東三河の県会議員にもご同席いただきました。

次に各種団体との要望打ち合わせについてであります。10月30日に商工会と振草川漁協協同組合・森林組合については、11月1日に各組合長さんをはじめ役員の方たちと情報交換をしながら要望等をいただきました。また、シルバー人材センターとは11月14日に理事長さん・事務局との打ち合わせをさせていただきました。JA愛知東さんとは、12月2日に組合長さんに来庁いただき意見交換をさせていただいたところでございます。

社会福祉協議会の理事会が10月3日に行われ、出席をさせていただきました。補正予算の審議、事務所移転に関する事項などの協議がされました。また、10月19日には、事務局長等との令和5年度事務執行体制などの打ち合わせも行っています。

11月27日に愛知県政150周年を迎え、議長と共に記念式典に参列をさせていただきました。これを機に県は11月27日を「あいち県民の日」に定め、公共施設の利用料を一部免除するなど、また、公立学校の休日を設けるなどの条例案をこの12月県議会に提案されています。

もう少しお時間をいただき、その他について9月議会定例会以降の取り組み等を報告させていただきます。

職員採用ですが、令和5年4月一般職員採用試験については、数名の採用内定を出していますが、再度二次募集を検討したいと考えています。。

給食調理員の採用も予定しています。また、火葬場職員が急に退職したため、現在は委託会社をお願いしその都度対応していますが、新規職員の採用を予定しています。保健師、保育士についての募集も行っています。保育士の応募はございましたが、保健師の応募がなく、再度募集を考えているところであります。

マイナンバーカードの普及についてです。

デジタル田園都市国家構想交付金の第2次補正予算で、現状のカード交付率が全国平均以上であることを申請要件とするなど、普及状況を反映させることが予想されます。現在、担当課で休日申請の受付やスマホ教室などでの手続きなどを実施して、普及促進を図っていますが交付率は、10月末現在で44.57パーセントという結果であります。全国平均は51.13%、愛知県内平均は50.58%

となっています。愛知県下 54 市町村中 50 番目であり、まだ全国平均以下でありますので、今後も普及促進に努めてまいります。

次にとうえい温泉ですが、コロナ禍の影響や、価格高騰(原油単価、電気料など)が続いており、大変厳しい状況となっています。また、築 20 年以上経過して機械故障などの影響により、休業を余儀なくされていることもあります。

売り上げは 4 月から 10 月までの昨年度比は 142.4%と客足は戻りつつある状況ですが、今なおコロナウィルス第 8 波の感染状況から、年末年始にかけては厳しい状況を想定しなければならないと思います。いずれにしても、大変厳しい状況が続くものと思われます。

今年も年末年始の営業については、現段階では休まず営業する予定と聞いています。

次に主要道路については、三遠南信自動車道の鳳来峡 IC から東栄 IC 間の最後の 4 号トンネルが貫通いたしました。また、国道 473 号の月バイパスも橋梁が完成し、いよいよトンネルの掘削が始まります。国道 151 号布川地区交差点も、順調に工事等が進んでいます。

また、岡本交差点については、本郷下川農免線をはじめとする現状

の調査をしたうえで、県とも調整しながら検討をしてみますが、まだ時間が必要ですので、ご理解のほどよろしく願いいたします。

1 1月3日の東栄フェスティバルも地域の皆さん、国・県はじめ多くの方の素晴らしい郷土愛とご協力により、3年ぶりに開催することができました。いつもより時間を短縮して行いましたが、2,500人ほどの来場者がありました。また、今回は来場できない方のために「ユーチューブ」でのライブ配信を行ったところであります。こうして皆様のご協力により開催できたことで、少しでもこの地域の元気につながられたのであれば、うれしく思うところであります。

フェスティバル開催以降は、コロナ対策を講じて、それぞれの地区保存会で花祭が開催されているところです。コロナが収束し、早く従前のように開催できることを心から願っています。

次に教育関係です。

総合教育会議を10月5日に開催いたしました。教育に関する事務の管理及び執行の状況点検・評価について、コミュニティスクール導入検討状況について、部活動の地域移行について、令和4年度教育課関係主要事業の進捗状況についての議題等をご協議いただきました。

文化祭行事は10月29日から11月6日まで作品展示会を開催しました。今年も中学生の合唱発表後、静岡大学名誉教授の小和田哲男氏をお招きして文化講演会を開催しました。また、町民芸能まつりは、10月30日に花祭会館で行っています。

スポーツ関係では、グランパスサッカー教室を9月25日に開催することができ、コロナ禍で心配をしましたが、名古屋グランパスのコーチの指導により、多くのサッカー少年が参加していただき、大変有意義な教室となりました。

ドラゴンズ野球教室については、昨年一昨年とコロナ禍で中止となりましたが、本年度は12月17日に東栄中学校で開催することができるとなりましたので、北設楽郡の子どもたちに参加いただきます。そして、12月の初旬にいつも開催していました愛知県市町村対抗駅伝も、2年連続で中止でしたが、今年度は1月14日に開催されることとなりました。既に選手の皆さんは、練習に取り組んでいただいています。皆さんの応援よろしくお願いいたします。

次にバスケットボールの三遠ネオフェニックスにおいては、現在シーズン真っ只中ではありますが、前半は地区首位という好成績でありましたが、ここ数日の試合はケガ人が続出し、連敗が続いている状

況です。東三河 8 市町村とスポーツを活用したまちづくりに関する相互の連携及び協力を目的に連携協定を締結しています。こうしたことから、ホームタウン活動として、小学校でのバスケットボール交流会の開催や 11 月 3 日のフェスティバルにも参加いただいています。明日 8 日には小学校でバスケットボール教室を開催していただきます。今後は、住民を無料招待していただく奥三河デーなども計画され、その会場で観光や特産品の PR ブース、飲食ブースなども行われる予定ですので、今後随時皆さんにお知らせいたします。

次に成人式についてですが、ご承知のとおり、成人は 18 歳からとなったため、名称を「二十歳^{はたち}を祝う会」として 1 月 8 日に東栄中学校体育館で開催いたします。対象者は 20 名の予定です。ご案内をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

コロナ禍で心配もありましたが、小学校修学旅行、中学校の国内語学研修なども無事に終了しています。

なかなかカナダへの中学生海外派遣研修が実施できないのは非常に残念ですが、交流先のカナダ・リージェント・クリスチャン・アカデミー校とのオンライン交流も昨年同様に実施でき、国内語学研修

を含め、確実に英語力、英会話が上達でき、また、ふるさと東栄の良さを発信していただくなど、本当にうれしく思うところであります。カナダ研修が実現できるよう、早くコロナが収束することを願って止みません。

最後に11月26日に東栄ひだまりプラザにおいて、北設楽3町村在宅医療・介護連携推進事業の住民啓発講演会を開催しました。テーマは在宅医療と終活（自分らしい最期の迎え方）、終活アドバイザーの佐々木さんによる終活のアドバイスをいただき、東栄診療所長の早川先生には、「東栄診療所のいま」（無床化・移転をへて）をテーマにお話しいただきましたので、少し現状等を報告させていただきたいと思います。

東栄病院は2017年から外来患者が減少し始めました。入院患者も2016年から著しく減少し始めました。そして、ご存じのように2021年からは一日当たりの入院患者数は3・4人という状況になりました。

無償診療所になった現在、外来診療・在宅診療は従前と変わりなく、入院がないので充実できている。また、栗代、古戸、御園へは巡回診療を続けています。施設診療もやまゆり荘、すぎのきの里を受け持つ

ています。住民健診、総合ドック、予防接種（コロナワクチン接種が増えました）も以前と変わらず行っています。

下川診療所の診察は中止しましたが、今まで下川ではできなかった検査もできるようになり、午後からの診察は効率が良くなっていると感じています。また、町の中心地に移り、町全体のことを考えるといろいろな面で便利になったと感じています。2021年の一日平均外来患者数は105.8人、2022年の上半期では97.6人となっており、一年通して、あまり変わらないと思います。少し減った理由は、旧佐久間町や旧鳳来町の方が他の医療機関に変更されたこと（こちらから紹介した件数も含み）が、原因だと考えます。

次に訪問診療は2021年までで、年間400件から500件でした。本年の上半期では、現在延べ287件となっています。24時間の対応をさせていただいています。夜間・休日の往診は30件ほど、看取りは自宅が6件、やまゆり荘6件という状況です。

また、来院可能な急患であれば、時間内は対応しています。従前と変わりありません。

次に救急搬送ですが、（救急指定なし）原則受け入れはしていません。新城市消防署の現状は、北設楽郡内（東栄町も含め）新城市民病

院への搬送が一番多く、その次が豊川市民病院という結果です。

そして、コロナ禍の対応については、2022年の上半期の発熱外来患者数は257人、うち陽性者は122人という状況です。予防接種も5回目を12月9日から始めます。

病院から診療所への話では、やはりマンパワー不足が課題であり、医療そのものが都市部に集約される中で、山間部で今まで通りの医療提供は難しい。病床がなくなり、「地域での生活を支える医療」特に外来、在宅医療（施設診療を含む）を中心に進めていく必要があります。そして、「連携」が必要。他の医療機関との連携、介護・福祉・保健、行政との連携を今まで以上に進めていくことが必要であるとのことでした。死亡場所も、2018年までは東栄町であったものが、2019年からは町外が多くなり、特に新城市民病院が多いという結果であります。

最後にまとめとして、「目指す医療と今後」として、※診療所の理念としては、「地域での生活を支える医療を目指す、そして、医療・介護・保健・福祉の連携強化」であります。

外来患者が90人前後となり、人口が減っていく中で、現状病床を維持できる体力はない。また、他の医療機関との連携の必要性は先ほ

ど話しましたが、東栄診療所だけのことではなく、北設楽郡全体で考えなくてはならないとの話をお伺いしたところであります。

また、11月から第3火曜日の午後、腎臓内科の外来診療を月1回行っています。早期診断と適切な治療で重症化を予防するために始めていますので、ご心配の方は診療所に相談してください。来年も続けていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

リハビリも訪問リハビリを現在行っていますが、来年度から診療所内での施設リハビリを開始したいと考えています。

診療所の状況を先生の話を含めて報告させていただきました。

大変長くなりましたが、以上で行政報告を終わらせていただきます。

それでは引き続いて、本日提案をいたします議案等の提案理由について、ご説明をさせていただきます。

今議会には、議案12件、報告1件を上程いたしますので、よろしくご審議のほどをお願いいたします。

では各議案について簡略に説明いたします。

議案第83号 東栄町職員の定年引上げに伴う関係条例の整備等に関する条例の制定については、職員の定年延長に伴い関係条例の改正をするものです。

議案第84号 東栄町簡易水道事業及び下水道事業の設置に関する条例については、令和5年度より簡易水道、公共下水道事業及び農業集落排水事業特別会計を、地方公営企業法の適用を受ける会計に変更するために制定するものです。

議案第85号 東栄町簡易水道事業給水条例の一部改正については、簡易水道事業及び下水道事業の設置に関する条例の制定に伴い改正するものです。

議案第86号 東栄町辺地総合整備計画の変更については、東園目辺地における林道事業の事業費を変更するものです。

議案第86号 東三河広域連合規約の変更については、連合が行う共同処理事務のうち、社会福祉法人の認可等に関する事務に社会

福祉連携推進法人を追加等するものです。

議案第88号 令和4年度 東栄町一般会計補正予算(第10号)

は、人件費、新型コロナウイルス感染症対策に係る地方創生臨時交付金事業を含む総額2,696万9千円の増額補正です。

内容は、臨時交付金事業として、中学2年生の国内研修事業に対する補助金、その他としては、電気料をはじめとする物価高騰に対する役場をはじめ各種施設に係る燃料費及び光熱水費、旧粟代小学校及び旧奈根小学校修繕、戸籍情報システム改修、障害者施設等通所通院交通費助成金、児童発達支援施設等給食費補助金、老人保護措置費、母子医療費、児童手当に対する特別給付金、児童発達支援施設利用者負担金、国民健康保険特別会計操出金、簡易水道特別会計操出金、火葬業務及び火葬場管理業務委託、農業集落排水事業特別会計操出金、有害鳥獣駆除委託、産業会館指定管理料、公共下水道事業特別会計操出金、全国瞬時警報システム更新、東栄ヘリポート吹き流し修繕、私立高等学校授業料助成金、高校生通学等支援事業補助金、花祭会館高圧コンデンサー等交換工事、起債の償還金に係る元金及び利子が増額のおもなものです。

一方、税システム改修委託、後期高齢者医療特別会計操出金がおもな減額です。

これらに充てる歳入については、町税、地方創生臨時交付金、国県の補助金及び委託金、諸収入を見込むとともに、財政調整基金繰入金、町債を減額します。

議案第89号 令和4年度東栄町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）は、1億425万2千円の増額補正であります。

おもな内容は、一般被保険者療養給付費と保健事業に係る人件費の組替によるものです。

議案第90号 令和4年度東栄町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）は、財源更正による補正であります。

議案第91号 令和4年度東栄町簡易水道特別会計補正予算（第4号）は、540万7千円の増額補正であります。

おもな内容は、物価高騰による光熱水費、新畑浄水場の入口と漏水等に係る修繕、月地区送水ポンプ修繕工事の増額です。

議案第92号 令和4年度東栄町公共下水道事業特別会計補正予

算(第3号)は、507万4千円の増額補正であります。

おもな内容は、物価高騰による電気料の増額です。

議案第93号 令和4年度東栄町農業集落排水事業特別会計補正

予算(第3号)は、68万円の増額補正であります。

おもな内容は、物価高騰による電気料の増額です。

議案第94号 令和4年度東栄診療所特別会計補正予算(第7号)

は、41万8千円の増額補正であります。

おもな内容は、人件費の減額と医師住宅浄化槽設置工事の増額です。

報告第12号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及

び評価については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により報告するものです。

以上であります。詳細については副町長はじめ担当課長から説明をいたしますのでよろしくご審議のほどお願いいたします。